

牛農家の方々へ

「家畜の糞尿臭いの対策方法」

～独自開発、自然由来の「消臭ソイル」の使い方～

牛(糞尿)の諸問題点

糞尿は、糞と尿は分別し、糞は発酵させ肥料として活用するのが一般的に行われ、尿はプールで発酵を終わるのを待ち、その後、農地に噴霧をするか、又は、処分の方法が行われております。農地に噴霧致すときには臭いが散乱いたし、周りの環境に悪影響を及ぼし、処分依頼いたすと経営負担となり、又は浄化槽を設置し放水する方法が行われており、量産になると処理できない状態で環境問題になっております。

(対策解決方法)

1.糞尿分別の場合

尿プールに貯め置き方法は、**尿約1トン基準に、消臭ソイル1kg**を散布します。臭いが減少すると同時に、液肥の発酵が促進し期間が短くなります。

消臭ソイルは底下に沈殿しますが、そのまま沈殿させても良いです。又農地に一緒に散布しても可能です。(消臭ソイルは栄養分の吸着した土)

2.浄化槽使用の場合

浄化槽での処理方法には、浄化槽中に**消臭ソイル**を散布すると廃液が浄化され、臭いも減少します。(投入する量は、10人槽で1kgを目安として100人槽で10kgを基準とする)約1年ごとに残渣汲み取り時期に入れ替えます。

3.糞肥料活用の場合

糞の中に散布すると糞の醗酵温度が上がり、発酵期間が短縮されます。

糞が発酵後、肥料と栄養分の吸着した土であり作物には土壌改良に活用できます。(分量は**糞約1トン**当り、目安として**消臭ソイルを2kg**散布とする)

(サンプルご希望の際は特別格安で提供いたします)

連絡先:担当篠崎 携帯:090-7792-1045 Mail:info@eco-hi.jp